

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		13 01 02	中期総合計画主要施策番号		5-07		担当課	部・課	企業局 事業課	
事業名		水道水の安定供給				内線		3937		
						E-mail		jigyo@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	快適で暮らしやすいまちづくりを実現するため、安定した水道水の供給を維持する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 水道水の安定供給を持続させるためには、老朽施設の更新や必要な施設の拡張等を計画的に実施していくことが求められている。								
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 水道施設の老朽化が進み、また一部の水源において、過去に水質悪化の傾向がみられる。								
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 安心しておいしく飲める水道水の安定供給を図るため、老朽施設の更新や浄水処理の高度化を図る必要がある。								
	事業内容	安定した水道水の供給を持続するため、以下の取り組みを行う。 ・配水池の新設 ・紫外線処理施設の導入 ・浄水池の増設 ・各種設備の更新								
実施期間	S38 ~		根拠法令等	水道法						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	水道施設・設備の改良、更新を行うことにより、安定した水道水の供給を持続する。		・末端給水事業は、篠ノ井調整池築造工事のH22年度供用開始に併せた本体及び付帯工事の建設促進を行う。 ・用水供給事業では場内受変電設備の更新を行う。			・末端給水事業について、平成19年度から施工中の篠ノ井調整池築造本体工事は、約70%の進捗率となり、期待どおりとなった。 ・用水供給事業について、場内受変電設備工事は、H20年度より着手し着実に進捗させH21年度完了見込みである。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,738,750	2,083,740	1,926,207	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	1,439,693	1,785,767		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別 内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	11	13	14	工事請負費 1,785,767 (単位: 千円)			
	概算人件費 (C)		千円	78,540	92,937	100,086				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	1,518,233	1,878,704	2,026,293					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	施設の大規模改良・更新		箇所	2	2	5	諏訪形浄水場テレメータ設備取替工事など、75工区の更新を実施			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・「災害に強い水道施設の整備」、「老朽化した施設の更新」に対する要望が高く、耐震化と施設の更新が求められている。 ・ 将来大幅な水需用の増加は見込めないため、長期的な投資計画の検討が必要となってきている。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		将来大幅な水需用の増加が見込めない中で、施設の更新や耐震化事業に多額の投資が必要となってきており、適正な料金水準における財政収支計画を検討し、有効的、効率的な投資を図っていくことが必要となっている。							